

経済産業省と東京証券取引所による「SX 銘柄 2026」に選定

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小池 昌洋、以下「当社」)は、経済産業省と東京証券取引所が選定する「SX 銘柄 2026」(※)に選定されましたので、お知らせいたします。
当社が SX 銘柄に選定されたのは初めてであり、「SX 銘柄 2026」において保険業での選定は、当社のみです。

(※)経済産業省ウェブサイト(<https://www.meti.go.jp/press/2026/05/20260518001/20260518001.html>)

1. SX 銘柄 2026 について

SX 銘柄とは、東京証券取引所に上場している企業の中から、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)を通じて持続的に成長原資を生み出す力を高め、企業価値向上を実現する先進的な企業を選定・公表する制度です。2023 年 2 月に創設され、第 3 回となる 2026 年は当社を含め 15 社が選定されました。

2. 当社が評価されたポイント

この度、当社は、パーパスを起点に社会課題解決と企業価値向上を循環させる持続的な価値創造ストーリーを示していることや、グローバルなリスク分散とグループ一体経営を軸に、利益成長とボラティリティ抑制を両立してきた点などが高く評価されました。評価された点は以下の通りです。

(1)「保険+ソリューション」を両輪とする独自のビジネスモデル

規律あるアンダーライティング力とグローバルなリスク分散に支えられた強固な「保険事業」を基盤に、多様化するリスク・損害の発生や拡大を防ぎ、極小化するための「災害の事前・事後の領域」を中心とした「ソリューション事業」を展開しています。

(2)規律あるポートフォリオ変革

事業成長を伴う「質の高いポートフォリオ」の構築に向けた取り組みの 1 つとして、M&A を実施しています。なお、M&A を実行する上では、①カルチャーや経営の価値観が合うこと、②高い収益性を有していること、③それを裏付ける独自で強固なビジネスモデルを持っていること、という「買収3原則」を堅持しています。

(3)グローバルなグループ一体経営

海外役員の増加や CxO の任命等を通じて、世界各地の知見やノウハウを結集して経営の重要事項を決定・実行するなどして、グループ一体経営を着実に進化させています。

評価内容の詳細については、経済産業省が公表する「SX 銘柄 2026 レポート」をご覧ください。

3. 今後について

当社は、社会の持続可能性に資する長期的な価値提供を行うことで、より一層、サステナブルな社会の実現に貢献し、企業価値向上にも取り組んでまいります。

